



学校だより

3月 第398号

令和6年2月29日 発行

横浜市立六つ川西小学校

(TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



令和5年度の六つ川西小学校

学 校 長

六つ川西小学校の学校教育目標は「かがやきひびきあう六つ西の子」です。

学校では、子どもたちが高学年になった時に「学校の代表としての自覚をもった行動をしたり夢や目標をもち生き方を追及したりする力」を身に付けることを「かがやく姿」、「よりよい学校を創り上げるために地域等社会とのつながりを大切にして協働的に解決する力」を身に付けることを「ひびき合う姿」と捉え、その具現化に向けた取組を日々、試行錯誤を繰り返しながら行っています。

先日の六つ川中学校ブロックの学校運営協議会で、学校の課題と今年度の取組の様子を各校の校長より報告する場面がありました。

本校からは「PTA組織の解体と新たな関係づくり」について、その取組の様子を報告しました。

学校では、学校・家庭・地域が一体となって話し合う「のほほの会」を新設し、その1回目には「子どもたちが学校教育目標を達成するために必要なことは何か」を話し合いました。

「子どもたちをほめてのばしたいけど、学校、家庭、地域、それぞれの役割は？」

「地域の方との関わりを通して子どもたちに学んでほしいけど、どうすればいいの？」

「いじめの未然防止に向けて私たちにできることは何？」等の活発な意見交換がありました。

1月18日(木)の2回目の会では、子どもたちの成長のために、各々の立場でできることや三者相互の関わりなどを話し合いました。

「PTAが無くなって、保護者同士の交流がなくなったように感じる。」という保護者の方の意見や、

「PTAに代わる組織を検討してみてもどうか。」という地域の声もあがりました。

学校と地域の関係づくりからスタートしたボランティア組織「六つ西かがやき☆レンジャーズ」は、今年度より順調に軌道に乗り、「図書(読み聞かせ)」「環境」「見守り」「学習・行事」それぞれのレンジャーズの皆様は今、学校は支えられています。

その輪は保護者の皆様にも広がり、「できるときにできることを！」が合言葉の「ピンポイントレンジャーズ」をはじめレンジャーズに加入していただいた保護者の数は、57名に達しました。

「仕事が無い日に短時間で可能な限りできることがあれば協力します。」

「未就園児がいるけど、カーテン洗濯等、家でできることをやりたいです。」

そんな声も寄せられるようになりました。

地域・保護者の皆様を支えられてこそ、学校は成長し、子どもたちも育ちます。

昭和54年4月に開校し、昭和55年6月に発足した「六つ川西小学校PTA」は、時代の流れの中、43年の時を経て、令和4年度に解体する運びとなりましたが、子どもたちの「かがやく姿」「ひびき合う姿」を目指す学校・家庭・地域のベクトルは、今、再び同じ方向を向いて歩き始めました。

皆様のご協力に心より感謝いたします。

【学校評価】 地域・保護者の皆様より頂いた学校評価の項目に子どもアンケートの結果を加え、3月上旬に保護者の皆様へお知らせします。

